



坂戸市立坂戸小学校 **笑顔・感動・花いっぱい**
夢道場・坂戸小だより

【学校教育目標】

- やさしく (徳)
- かしこく (知)
- たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和2年7月3日
第6号 文責

708名のかげがえのない命・『いじめゼロ宣言』/「今こそ、心の距離を縮めよう」

～【己の欲せざる所、人に施すこと勿れ】、そして【己の欲する所、人に施せ】～

【お話朝会（放送）より】 学校が再開して、1 か月が経ちました。皆さんが、一時間一時間の授業を大切に頑張っている姿、係や当番の仕事、掃除をしっかりと責任をもって行っている姿、休み時間に楽しそうに遊び、笑顔が一杯の姿。とても嬉しいです。そして、委員会活動も本格的に始まり、自分たちの坂戸小をさらに良くしようと頑張っている姿が校長先生にも伝わってきます。改めて学校の主役である皆さんを頼もしく感じています。

さて、先週、低学年の交通安全教室がありました。そこで、2年生以上の皆さんには昨年度、何度もお話をしましたが、入学したばかりの1年生にも聞いてみました。「この世の中で、一番大切なものは何ですか」。驚いたことに1年生は、しっかりと「命」と答えてくれました。そうです。命です。かけがえのない命です。「かけがえのない」とは、「この世の中にたった一つしかない、無くなったら他に代えるものがない」ということです。自分の大切な命は、他の人にとっても「かけがえのない」もの。自分の命と同じくらい、他の人の命を大切にしなければなりません。この坂戸小には708名の児童がいます。どれも本当にかげがえのない命です。皆が、このかけがえのない命を大切にしながら、それを活かそうと一生懸命に生きている。それなのに、世の中を広く見渡すと、人はどうして傷つけ合うのか。人の心を傷つけることは、人の命を傷つけることと同じだと思います。

「坂小っ子の合言葉」＝「やさしく かしこく たくましく」。まず一番目にあるのは「やさしく」ですね。先ずは、「坂小っ子は、優しくあれ!」。本当に強い人とは、優しく、相手のことを常に「思いやれる人」です。

いじめは絶対に許されません。校長先生はもちろん、坂小の先生たち全員が、いじめは許しません。なぜなら、人の心を傷つけることは、かけがえのない命を傷つけることだからです。

坂小っ子の皆さんは、とても優しい人ばかりです。でも、つい相手が嫌なチクチクしたことを言ったり、したりしてしまうことはありませんか。そんな時は、素直に「ごめんなさい」が言えることが大切です。その人が気づいていない時は、皆でしっかりと注意し合えるといいですね。皆、かけがえのない命のある大切な仲間です。

坂戸小は、『いじめゼロ宣言』を行っています。「己の欲せざる所、人に施すことなかれ」。自分がしてほしくないことは、他の人には絶対にやってはいけない。これは当たり前。坂小っ子の皆さんは、さらに上を行き、「己の欲する所、人に施せ」。自分のして欲しいことを、先ずは他の人にする、という精神です。

新型コロナウイルス感染症予防のため、皆さんは、「新しい生活の約束」を守って行動しています。「ソーシャルディスタンス」という言葉を聞いたことがありますね。「社会的な距離」という意味で、お互いに離れて距離をとる、ということです。お友達と距離を離さなければいけないということで、心がモヤモヤしたり、ギスギスしたりすることはありませんか。クラスが変わり、仲の良い友達と別れて寂しい、つまらない。新しいクラスで、新しい友達をつくりたいけど上手いかわからない、という人はいませんか。「ソーシャルディスタンス」、体と体を離すことが必要な今こそ、「心の距離を縮める」ことを大切にしましょう。「心の距離を縮める」ことで、仲良くなれます。それにはどうすればよいか、考えてみてください。これは、校長先生からの皆さんへの宿題です。「どうしたら、他の人と心の距離が縮められるか」。その方法が分かった、やってみて上手いことを、校長ポストにお手紙に書いて教えてくださいね。校長先生は、何度も言います。皆さんが、**学校が楽しい。たくさんの仲間たちがいるから安心。心が安らぐ**。そんな坂小で、いつまでもあって欲しいと願っています。お話を静かに聴いてくれて有難う。お話を終わります。

「家庭用いじめ発見チェックシート」

1 起床から登校前

□布団からなかなか出てこなかったり、具合が悪そうであったりする □けだるそうな、疲れた表情である □いつもと違って朝食を食べようとしない □ぼんやりしたり、ふさぎこんでいたりする □学校に行くのを渋ったり、登校班の集合場所に行きたがらなかったりする

2 登校中

□友達の荷物を持たされている □一人で登校するようになる □遠回りして登校してくる □途中で家に戻ってくる

3 帰宅時

□理由のはっきりしない服の汚れ、破れやボタンのほつれがある □あざや擦り傷があってもその理由を言わない □自分の部屋に駆け込み、なかなか出てこない □いつもより帰宅が遅い □自転車や持ち物等が壊されている □学校の話をしなくなる □外出したがない □プリントが破れている、道具や持ち物に落書きがある

4 夕食から就寝まで

□食欲がない □特定の友達に対する言葉遣いが不自然に丁寧である □友達の話をしなくなったり、いつも遊んでいる友達と遊ばなくなったりする □お金の使い方が荒くなったり、無断で持ち出したりするようになる □部屋にある持ち物や学用品がなくなっていく □買い与えた覚えのない品物をもっている □メールはこそこそ見る、鳴っている携帯電話に出たがらない □部屋に閉じこもりがちで、好きな趣味などにも興じなくなる □家族の者と話をしなくなる □いじめの話をすると強く否定する □弟や妹をいじめるなど、急に乱暴になったり情緒不安定になったりする □疲れた様子であったり、なかなか寝つけなかったりしている □普段より暗かったり、逆に明るく演じたりする感じがする

*** 気になることがありましたら、学校にご相談ください。**

≪ 夢道場・ほっとニュース ≫

熱中症予防策『日傘差し登下校』

熱中症予防策として、日差し強い登下校の際には、日傘の使用を許可しました。傘を差すことで距離を保てるため、マスクを外すことも可。他にも冷感タオルの使用も可としました。家庭での健康管理を引き続きお願いします。



交通事故ゼロ宣言『交通安全教室』

1、2年生のそれぞれを対象に、「交通安全教室」を実施しました。西入間警察署の職員の方や交通指導員の皆さんにご指導を頂き、道路の渡り方等、自分の命を守る行動を真剣に学んでいました。飛び出さな！車に注意、右左！



『楽しく学ぼう！』『プログラミング学習』

本校が昨年度より先行で実施していたプログラミング教育も、今年度から新学習指導要領の全面実施で本格的に。担任とICT支援員のチームティーチングの下、児童たちは本当に楽しそうにプログラミング学習に取り組んでいます。



英語って楽しいね！『外国語の授業』

今年度より、5・6年生で学習していた「外国語活動」が、「外国語」として新たな教科になりました。本校では、外国語教育をプログラミング教育と特別支援教育と合わせて学校研究として取り組んでいます。担任、英語専科教師、外国語活動支援員、ALTで楽しい授業を目指しています。



≪ 夢道場・ほっとインフォメーション ≫

坂戸小会場『ふれあい漢字検定』

本校を会場に実施する「ふれあい漢字検定～世代を超えた学び合い～」につきまして、保護者の皆様にはアンケートへのご協力を有難うございました。参加希望状況につきましては、

□「お子さんを受検させたいと思いますか」 213名

□「家族で参加したいと思いますか」 104名

という結果でした。大多数の回答が「どちらともいえない」でしたが、「子供と一緒に受けたいが、平日は仕事なので」とのご意見も複数ありました。参加をご希望される場合は、7/8(水)までに申込書と受験料入りの封筒を学校にご提出ください。よろしくお願いたします。

なお、今回は感染症予防のため、地域の皆様のご参加は合わせていただきます。大変申し訳ございません。

【お問い合わせ先】坂戸小学校 ☎281-0039 () まで

【校長室より】『校長ポスト』～子供の声、内なる心の叫びと

「校長ポスト」- 校長となった初日に購入し、使用し続けて早7年の歳月が過ぎた。「いじめ防止基本方針」の下、日常の指導・支援、観察はもとより、「生活アンケート」等、様々な未然防止・早期発見に努めているが、その一助になればと校長室前に設置した。これまで沢山の児童たちの声が届いた。私への嬉しい励まし(?)の手紙が大半だが、中には家庭や学校での切実な悩みを訴えるものもあり、校内だけでなく児童相談所等の関係機関と連携を図るケースも。708名のかげがえのない大切な命。子供たちの「内なる心の叫び」を見過ごし、見逃してはならない。

